

広東省および主要都市の経済概況（2024年）



【地理・歴史】大陸部最南端に位置。福建省、江西省、湖南省、広西チワン族自治区、香港・マカオと隣接。省内を流れる珠江の河口周辺部は珠江デルタと呼ばれ、広州市、深圳市、東莞市など9市からなる経済の中心地。方言話者が多く、広東語4,000万人、閩南語1,700万人、客家語1,500万人。広東出身の華僑・華人は3,000万人以上で全国の半数を占める。

【経済・産業】1980年に深圳市・珠海市・汕頭市が経済特区に指定、香港資本の誘致を中心に対外開放が進んだ。深圳市・東莞市では香港を活用した広東式の加工貿易（原材料を保税輸入し加工品を輸出）が発展。多くの外資系企業が進出し電子・電機産業が集積。中でも深圳市は中国最大の電子・電機が集積地に。2000年代は「転型昇級」と呼ばれる産業構造転換・高度化を図り、加工貿易が柱の輸出型経済から、高付加価値・ハイテク産業やサービス産業への転換を推進。広州市周辺は日系を中心に自動車産業も集積、完成車254万台を生産し全国トップクラス。深圳市は「山寨（模倣品）」の街を経てハードウェア系スタートアップ/ベンチャーの中心地に。

【その他】2015年には広州南沙新区、深圳前海新区、珠海横琴新区に中国（広東）自由貿易試験区が設置。「粤港澳大湾区」計画により広東省・香港・マカオの関係強化をめざし、三地域を繋ぐ「港珠澳大橋」や広州市～香港の高速鉄道などインフラ整備が進む。

【日系企業】珠江デルタ中心に自動車、電子・電機、小売・飲食、化学品、機械など約1,400社。

2024年	単位	広東省	対前年増減	全国に占める広東省の割合	広州市	対前年増減	広東省に占める広州市の割合	深圳市	対前年増減	広東省に占める深圳市の割合
①面積	万km ²	18.0	-	1.9%	0.7	-	4.1%	0.2	-	1.1%
②常住人口	万人	12,780	0.6%	9.1%	1,898	0.8%	14.8%	1,799	1.1%	14.1%
③GRP	億元	141,634	3.5%	10.5%	31,033	2.1%	21.9%	36,802	5.8%	26.0%
うち第1次産業	億元	5,837	3.4%	6.4%	334	1.0%	5.7%	26	1.5%	0.5%
うち第2次産業	億元	54,365	4.4%	11.0%	7,839	0.7%	14.4%	13,909	8.3%	25.6%
うち第3次産業	億元	81,431	2.8%	10.6%	22,859	2.6%	28.1%	22,866	4.3%	28.1%
④固定資産投資	億元	-	▲4.5%	-	-	0.2%	-	-	2.4%	-
⑤社会消費品小売総額	億元	45,029	0.8%	9.3%	11,056	0.0%	24.6%	10,638	1.1%	23.6%
⑥都市住民一人当たり可処分所得	元/年	61,629	3.9%	-	83,436	3.6%	-	81,123	5.5%	-
⑦貿易額	億元	91,126	9.8%	20.8%	11,238	3.0%	12.3%	45,048	16.4%	49.4%
うち輸出	億元	58,916	8.4%	23.1%	7,005	7.8%	11.9%	28,122	14.6%	47.7%
うち輸入	億元	32,211	12.5%	17.5%	4,233	▲4.0%	13.1%	16,926	19.6%	52.5%
⑧対内直接投資額(実行ベース)	億元	1,012	▲36.4%	12.2%	231	▲52.2%	22.8%	441	▲29.5%	43.6%